

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、**ポストイング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送**などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告しています。



相崎佐和子

憲法の中の人権とは？ ～議員研修会～

2月26日、「**議員研修会**」を実施しました。伊丹市議会では年に2回、資質向上を目的に研修会を実施しています。ご案内を差し上げたところ、議員・幹部職員・一般市民の皆さんなど多数お集まりいただきました。

今回のテーマは「**憲法の中の人権とは**」。講師は伊藤真氏（弁護士・伊藤塾主宰）。伊藤先生といえば、伊藤塾の塾長として公務員試験や法律関係の資格試験を受験される方々にはカリスマな先生。また憲法について全国各地で講演に引っ張りだこの人気講師。そんな伊藤先生に伊丹市議会でご講演をお願いしたところご快諾いただきました。嬉しい限りです。

憲法改正論がありますが、改正の議論の前にまずは現行憲法をしっかりとっておくことが肝要です。そこで憲法の中でも特に人権にスポットを当て、伊藤先生にご講演いただいた次第です。

- 生存権（25条1項）。マッカーサー草案にはなく日本人の意志として追加したもの。助け合いなどではなく、国に要求できる「人権（人の権利）」として位置づけた。
- 権利＝英語ではright（正しいこと）。かつては「権理」と訳していた。
人権＝人の権利＝人の権理＝人として正しい事（主張しなければ消えてしまうもの）
- 「真の教養とは、人間は戦争してはいけないと信じること。
自国のことのみを考えるのではなく、他国のことも深く理解すること」byトーマス・マン
- 大日本帝国憲法：国家・天皇を大切に（国家主義・全体主義）
日本国憲法：一人ひとりを大切に（個人の尊重・個人主義）
- 個人主義と利己主義は異なる（個人主義が尊重されたがためにワガママになったとの論は間違い）
- 正当性と正統性は異なる
（例）イギリスのEU離脱→正統性（手続きとして）はあるが、正当性（内容が正しいか？）は不明
- 民主主義はアクセル、立憲主義はブレーキ。民主主義（多数決）が原則だが、それで決めてはダメな事柄もある。正統性はあっても正当性を担保する必要がある。
- 人権は、感覚・感情・感性ではない。自分の中の壁を学びと経験によって、知性と理性で乗り越えるべきもの。想像力と共感性が必要。
- 伊藤先生から私たちへの期待
 - ①明日の日本は今日の私たちが創る
 - ②今を生きる者としての責任を果たす
 - ③ゆっくり急げ 慌てず焦らず諦めず一歩一歩が大切



個人的に印象的だったのは「人は少数者・弱者になった時、人権の大切さに気付く」との言葉。その通りだと膝を打ちました。先生いわく「大切なのは他者への想像力と共感性を持つこと。『経験していないから、その弱者の立場はわからない』では絶対にダメ」とのこと。政治家には特に大切な観点です。

私は常々、どうしたら人権が尊重される社会になるんだろう、多様性を認め合える社会になるんだろう、と考えています。先生いわく「他者への共感性」は最も大切な事なのかもしれません。自分自身、様々な人の心の寄り添い、共感したい。そして人権が尊重される社会を創っていきたいと思います。